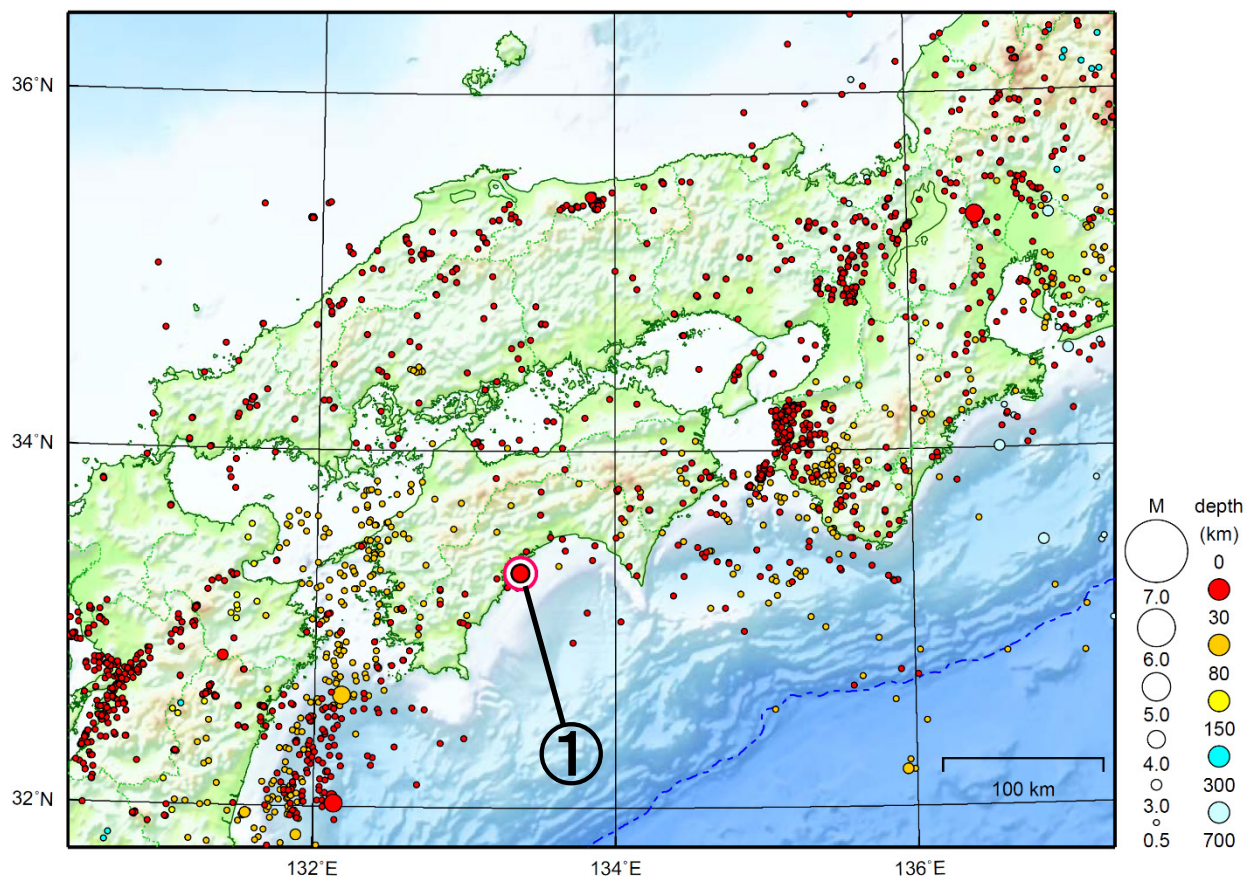


近畿・中国・四国地方

2020/06/01 00:00 ~ 2020/06/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 6月10日に土佐湾で M4.7 の地震（最大震度4）が発生した。

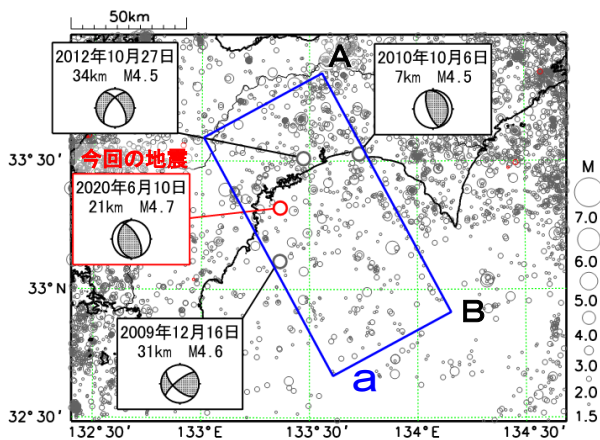
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

6月10日 土佐湾の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年6月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 1.5$
2020年6月の地震を赤く表示)

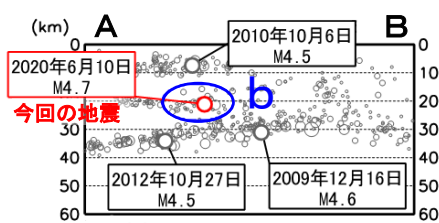


2020年6月10日00時22分に土佐湾の深さ21kmでM4.7の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。

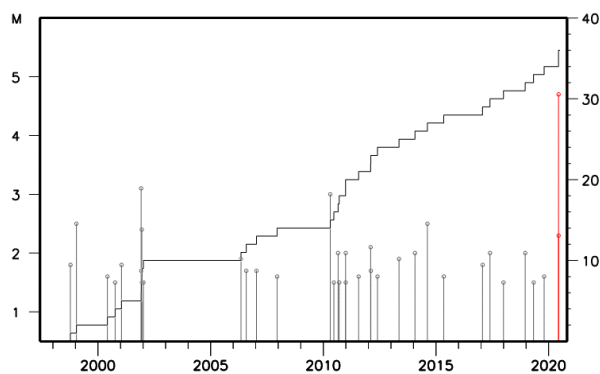
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M3.0を超える地震の発生はまれである。また、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、地殻内で2010年10月6日にM4.5の地震 (最大震度4)、フィリピン海プレート内部で2009年12月16日にM4.6の地震 (最大震度4) などが発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M5.0を超える地震が時々発生している。このうち1946年の昭和南海地震 (M8.0: 図欄外) の影響を受けたと見られるややまとまった活動があった。

領域a内の断面図 (A-B投影)

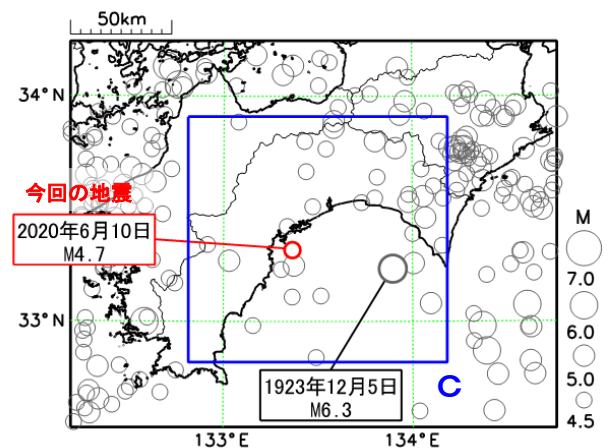


領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1919年1月1日～2020年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$
2020年6月の地震を赤く表示)



領域c内のM-T図

